

# 早稲田佐賀校友会報

第2号  
発行日  
2018年12月1日

## 早稲田佐賀校友会

会長 坂田 憲治



卒業生の皆様におかれましては、いかがが過ぎでしょうか。平素は早稲田佐賀校友会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今年度の校友会として「校友会の簿籍登録の改善案」と「関東支部会の簿籍登録の改善案」と「校友会の簿籍登録の改善案」として、「校友会の簿籍登録の改善案」として、従来はプリント配布を行い、各自で登録をいただいていたおりましたが、今年度は在校生に向けての入会式に出席した際に、活動内容の説明と名簿の登録を会で行いました。6期生の皆様のご協力もあり、おかげさまでほとんどの方の登録を無事に行うことができました。今後は頂いた名簿を元に周年事業やホームカミングデーの案内をさせていただきます。本新聞の4ページ目に簿籍登録の案内を添付しておりますので、未登録の卒業生の方は是非、登録をお願いいたします。

「関東支部会の活動」としては、卒業生が多く在籍している地区での活動を活発にするため、規約の作成や役員を選出を行いました。今後、九州や関西地区での支部会の発足に向けてモデルケースになるような組織を作りたいと思います。

最後になりますが、6期が卒業し、校友会の会員数も約900名を超える組織となっております。ご多用とは存じますが、在校生の健やかな成長と母校の発展のためにも早稲田佐賀校友会の活動へのご協力を今後ともよろしくお願いたします。

## 早稲田佐賀校友会

副会長 伊東 巧平



北風が頬に厳しく吹きつけ、寒さが一層身にしみる季節となりました。校友の皆様、いかがお過ごしでしょうか？

平素より、早稲田佐賀校友会の活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

今年度より校友会副会長に就任致しました、4期(中入1期)代議員の伊東巧平と申します。微力ながら、卒業後もこのような形で母校の発展に貢献できることに大きな喜びを感じております。

さて、唐津の地に早稲田佐賀が開校し、来年で10年を迎えます。校友会の規模も年々大きくなっており、但し「校友会って何をしているの?」と疑問をお持ちの方も多くなってきているのではないのでしょうか。

これまでは校友が学生ばかりということもあり、1期生の坂田会長を中心に限られた役員のみでの活動を主としていました。現在は社会人の校友もいらつしやるため、これまで以上に校友会を活性化していきたいと考えております。校友会の活動に関するご要望等をお持ちであれば、いつでも気軽に声を掛けください。

また、これから連続と続いていくであろう早稲田佐賀の歴史の中で、初めての節目の年となる来年度に向け、校友会としても様々な形で母校を支援していけたらと考えております。まだまだ未熟な当会ではありますが、卒業生の皆様の心の拠り所となり、母校の発展に一番近くで貢献できる存在であり続けたいと祈念して、私の就任のご挨拶とさせていただきます。

## 大隈記念早稲田佐賀学園

前理事長 村上 公一



4年前の11月に早稲田大学の附属・系属校担当理事となり、初めて本校とかわりを持つことになりました。また昨年の

4月からは理事長として学校経営に責任を持つ立場となり、教育環境の整備を進めてまいりました。

本校は2010年の創設から8年半の時が過ぎ、佐賀・唐津の地にしっかりと根付いてまいりました。また、進学した大学での学びを経て社会で活躍する卒業生が始められています。

よりよい教育の場を形づくっていくためには、これまでの教育をしっかりと振り返った上で、あらためて必要な変革を推し進める必要があります。その意味で本校は重要な時期を迎えています。今後とも、卒業生の皆さんの温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 就任挨拶

新理事長 渡邊 義浩



早稲田大学の創設者である大隈重信は佐賀県出身であります。また、早稲田大学第2大学長の天野為之は、現在の早稲田佐賀中学校・高等学校の位置にあつた唐津藩の英学校「耐恒寮」で学んでおり、この佐賀・唐津が早稲田大学と深いつながりがあることが分ります。

佐賀県をはじめ九州、全国から生徒が集い、切磋琢磨しながら佐賀・唐津の地で学びます。本学は佐賀県、唐津市をはじめ地域とのつながりを大事にした教育活動も行っており、先人たちのように将来さまざまな分野で国内外を問わずリーダーシップを発揮できる素養を育てていくよう本学園も努力してまいります。

## 早稲田佐賀中学校高等学校

副校長 島本 幸三



卒業生の皆さん、お元気ですか。歴史の浅い本校にとつて、卒業生と言ってもまだ大半は学生のはず。最近、ある方の話を聞きました。人を育てるのは「人・本・旅」である。学生の身分からするとま

ずは読書です。ある統計によるとアメリカの大学生は4年間で平均400冊読むのに対し、日本の大学生は100冊未満。知の巨人と呼ばれる評論家の立花隆さんは3,000冊読んだそうです。高校時代には試験勉強や部活動が忙しくなかなか本を読む暇がなかったかもしれませんが、しかし、大学ではそれを補うのに十分な時間があるはず。いろいろな所に出かけ、様々な人と話をし、多くの経験を積む。読書で掻き立てられた知的好奇心を基に広く世界を股にかけて旅すれば相乗効果は計り知れません。さて、早稲田大学校歌(本校学園歌)の歌詞で最も共感を集める部分の一つは「集り散じて人は変れど、仰ぐは同じき理想の光」です。学校ですから時が経って生徒が入れ替わるのは当然のこと。しかし、公立高校であれば卒業して7年、8年すれば、生徒だけではなく在籍時の先生もほとんどいなくなります。他方、私立の良さの一つは先生たちの異動が少なくてことです。すでに社会に出て荒波に揉まれている卒業生諸君、少し疲れたなと思つたら、休暇を取つて君たちの「ころのふるさと唐津」を訪ねてみてはどうでしょうか。先生たちは散じることなく君たちを待っています。

早稲田佐賀中学校・高等学校は、現在9年目を迎える歴史を刻んでおりますが、まもなく迎える開校10年目を機会に、これからの10年、20年後を見据えた学校の改革・改善を進めて生きたいと考えています。

# 収支決算書

2017年4月1日から2018年3月31日まで

収入(単位:円)	科目	予算	決算	差異
	終身会費(20,000円)	3,640,000	3,640,000	0
	年会費(2,000円)	47,600	50,000	2,400
	卒業記念品代	364,000	364,000	0
	受取利息	750	85	-665
	収入合計	4,052,350	4,054,085	

  

支出(単位:円)	科目	予算	決算	差異
	消耗品費	10,000	600	-9,400
	旅費交通費	300,000	215,220	-84,780
	通信運搬費	35,000	85,846	50,846
	印刷製本	150,000	149,904	-96
	使用料・賃借料		18,360	18,360
	会議費	50,000	12,310	-37,690
	行事費	50,000	0	-50,000
	報酬・委託・手数料	10,000	2,808	-7,192
	業務管理費	222,600	222,600	0
	教育活動支援費	200,000	122,653	-77,347
	広告費	25,000	21,600	-3,400
	卒業記念品代	364,000	340,000	-24,000
	教育活動支援費積立	200,000	200,000	0
	周年行事費積立	200,000	200,000	0
	支出合計	1,816,600	1,591,901	
	当年度収入超過額	2,235,750	2,462,184	226,434
	支出合計	4,052,350	4,054,085	
	前年度繰越収入超過額	12,290,309	12,290,309	0
	翌年度繰越収入超過額	14,526,059	14,752,493	226,434

## 事業報告と計画

2017年度事業報告

- ・甲子園子ケツト配布業務
- ・佐賀大会応援者へのドリンク差し入れ
- ・高校野球部の夏の大会への応援広告協賛
- ・東京研修旅行時のキャンパスツアーの協力
- ・中学・高校入試時の協力
- ・全国大会出場横断幕作成
- ・校友会入会式実施(2/28)
- ・会報の発行

2018年度実績と予定  
(2018年度事業計画)

- ・高校野球部の夏の大会への応援広告協賛
- ・東京研修旅行時のキャンパスツアーの協力
- ・中学・高校入試時の協力
- ・校友会入会式実施(2/28)
- ・全国大会出場横断幕作成
- ・会報の発行

## お知らせ

卒業生からのメッセージを募集しています。近況報告など、メッセージをお寄せください。

お寄せいただいたメッセージの中から卒業生のコーナーを設けられるようにしたいと思っております。

また、皆様から新聞の企画を募集いたします。新聞で取り上げて欲しい企画がありましたら事務局までご連絡ください。

## 告知

株式会社TVQ九州放送が早稲田佐賀八太郎館カレーを発売しました。

虎ノ門市場、amano、ゆめタウン、早稲田大学生協などで発売中です。

有明海苔が入っているので、口に入れた途端にマイルドな甘さが広がります。その後でピリツとしたスパイスの味が広がり、1口で2度おいしいカレーです。是非、ご賞味ください。



メールアドレス  
QRコード



就職先調査を行っています。卒業生の方で就職された方は、[alumni@wasedasaga.jp](mailto:alumni@wasedasaga.jp)までお知らせください。

今回の発行は、2019年12月頃を予定しております。

## 役員紹介

会長 坂田 憲治  
副会長 西田 理史  
副会長 重松 諒  
副会長 伊東 巧平  
会計 島林 秀伎  
監事 小泉 萌子  
代議員

一期生 石黒 元規  
小泉 萌子  
坂田 憲治  
島林 秀伎  
西田 理史  
笹津 敏暉  
二期生 内山 勇樹  
重松 諒  
原口 茉佑子  
原田 安珠  
山元 康平  
三期生 秋元 理帆  
田中 謙伍  
田中 知里  
友井 菜里奈  
森田 漢  
四期生 伊東 巧平  
五期生 田中 悠之介  
六期生 今西 健太  
関東支部長 笹津 敏暉  
関東支部顧問 大西 正泰  
特別会員 島本 幸三  
大賀 征也

〒847-10016  
佐賀県唐津市東城内7-11  
学校法人大隈記念早稲田佐賀学園  
早稲田佐賀中学校・高等学校内  
早稲田佐賀校友会事務局  
Tel: 0955-15819000  
Mail: [alumni@wasedasaga.jp](mailto:alumni@wasedasaga.jp)